

第21回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成21年2月

応募者名:長野県 伊那建設事務所

事業の名称:環状北線街路事業

実施都市名:長野県 伊那市御園

事業目的

環状北線は、伊那西部広域農道の大萱交差点を起点として、天竜川を越え、伊那市下川手地区で国道361号に至る、総延長約8.4kmの都市計画道路で、伊那市の環状道路網構想の骨格を形成するとともに、伊那インターチェンジと国道153号を直結する幹線道路です。

環状北線の整備により、伊那インターチェンジへのアクセス交通を円滑化するとともに、市街地の交通渋滞を緩和し、都市機能の充実に寄与します。

事業概要

事業名：環状北線街路事業

路線名：都市計画道路・環状北線外2線

事業箇所：長野県伊那市御園

事業延長：886m

幅員：12～28m

総事業費：50億4,000万円

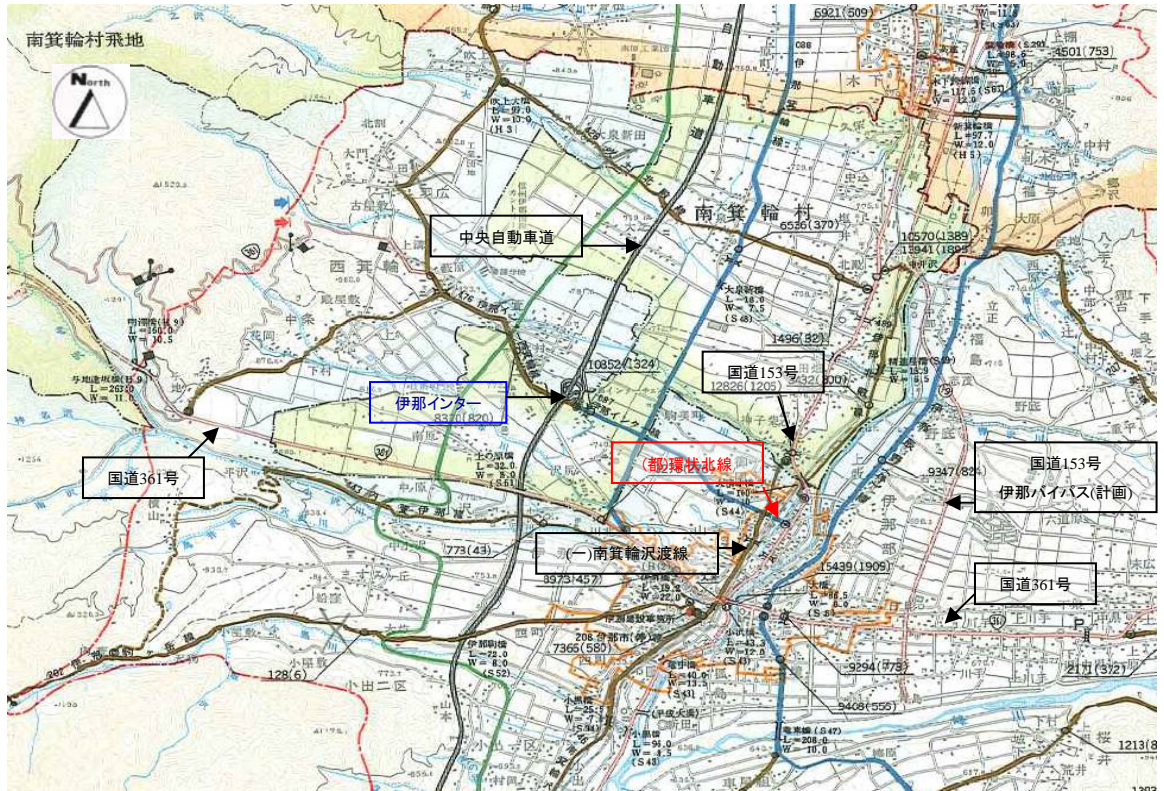
事業期間：平成10年～平成19年

本事業は、環状北線520m、名古屋塩尻線188m、河西線188mを整備したものである。

環状北線では、全長184m・高低差13mの御園跨線橋を主体として御園交差点・水神橋西交差点改良を行い、同時に名古屋塩尻線・河西線の一部拡幅を行った。

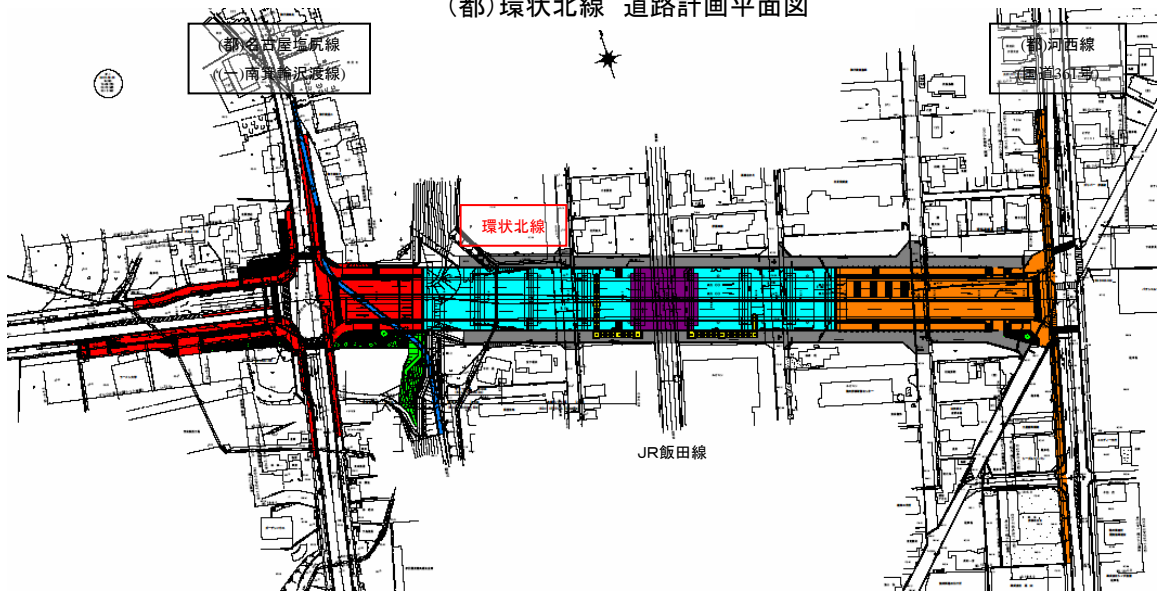
JR飯田線の踏切通過を解消して伊那インターチェンジへのアクセス交通の円滑化に寄与し、伊那市環状道路網構想の一端を担う街路事業となっている。

事業位置図

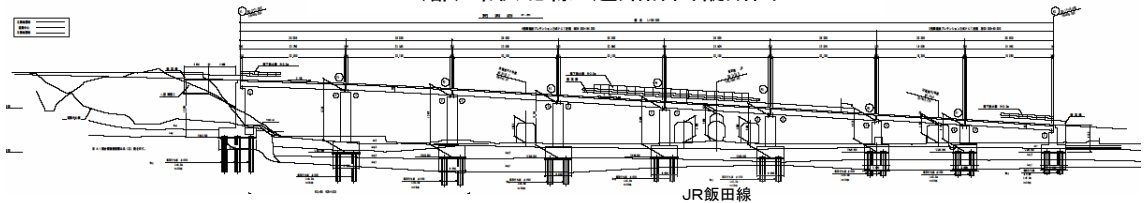


全体図(平面図・縦断図)

(都)環状北線 道路計画平面図

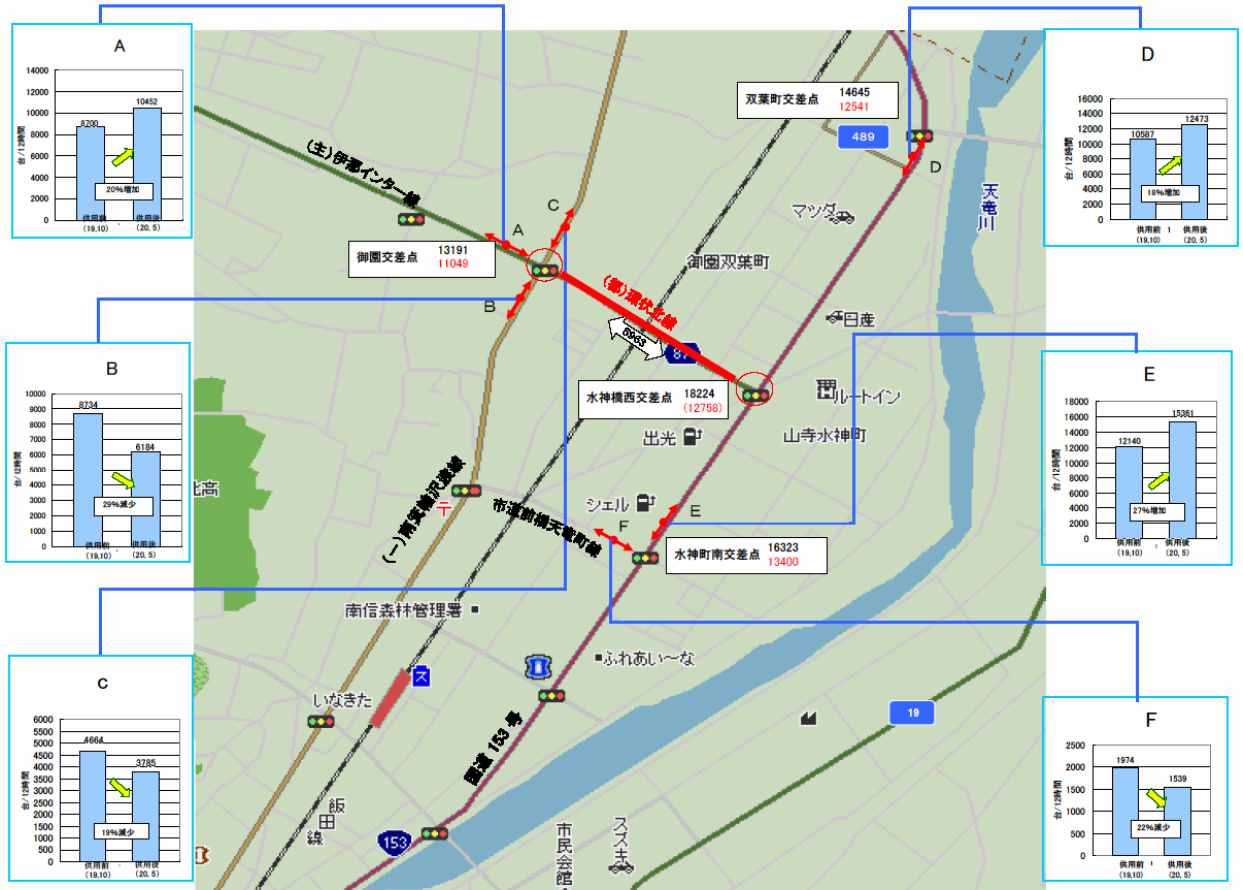


(都)環状北線 道路計画縦断図



環状北線の整備効果アピール資料

交通量調査結果



注) グラフの台数は、上り下り合計

○事業概要

事業名: 環状北線街路事業
 路線名: 都市計画道路・環状北線外2線
 事業箇所: 長野県伊那市御園
 事業延長: 886m
 幅員: 17.5~28m
 総事業費: 50億4,000万円
 事業期間: 平成10年~平成19年

○交通量調査結果

供用前 平成19年10月実測
 供用後 平成20年5月実測
 ・交通量の推移
 伊那インター線(A) 8,700台→10,500台
 南箕輪沢渡線(B) 8,700台→6,200台
 国道153号(E) 12,100台→15,400台
 ◎伊那インター方面からの車の55%が
 国道153号へ直進
 ◎伊那インター方面から伊那北駅方面
 へ向かう車は48%減少

「整備効果」

○所要時間の短縮

御園交差点⇒水神橋西交差点
 水神町南交差点経由 3分→1分

「その他の事業効果」

- JR飯田線の踏切待ちが解消された。
- 騒音防止のため、遮音壁と排水性舗装を実施した。⇒環境基準・要請限度はクリア。
- 南アルプスが一望できる御園交差点側に植樹帯を配置し、住民の憩いの場を確保した。

事業前写真

平成10年7月撮影



平成10年7月撮影



平成10年7月撮影



事業後写真

平成20年9月撮影



平成20年7月撮影



平成20年9月撮影

